

市政記者各位

令和6年12月19日

ふくおかの歴史や文化の魅力を紹介する企画展を開催します。
企画展「民具と生活—暮らしの中の意匠、暮らしのための設計—」

福岡市博物館では、歴史、考古、民俗、美術の各分野の学芸員が、さまざまなテーマを設け、博物館資料や館外の文化財を展示しています。このたび、以下の通り企画展を開催いたしますので、ぜひご取材いただきますようお願いいたします。

企画展の概要

「民具」は経済人で文化人でもあった渋沢敬三（渋沢栄一の孫）による造語で「一般庶民が、その日常生活の必要から、製作・使用してきた伝承的な器具・造形物の総称」のことです。簡単にいえば、私たちが日常生活を送る上で欠かさず使用してきた用具のことです。

本展では、当館の収蔵品の中から厳選した衣食住などに関する日用雑器を中心に約150件の民具を紹介します。さらに、「はかた伝統工芸館」とコラボレーション展示を行い、古くから製作されている伝統工芸品を展示します。同館が推薦する現代の職人や作家が作り出す新しい造形と、そこに息づく伝統にも注目です。

会期：令和7年1月5日（日）～令和7年4月13日（日）

場所：福岡市博物館2階 企画展示室1～4

時間：9時30分～17時30分（入館は17時まで）

休館日：月曜日（月曜日が休日の場合は翌平日休館）

料金：一般200（150）円、高大生150（100）円、中学生以下無料

※（ ）内は20人以上の団体料金、常設展示室・企画展示室共通



炊飯した米を入れておくための飯籠。風通しの良いところに吊るして腐敗を防ぐ。



南区皿山で昭和40年頃まで作られていた野間焼の片手鍋。



稲藁から葉や周りの部分を取り除いて穂先を束ねて作った手箒。柔らかい掃き心地が特徴。



40枚以上の端切れを接ぎ合わせて仕立てた仕事着。山や海仕事などで着用した。

■ お問い合わせ先 福岡市博物館 学芸課 杉山 石井
 電話 092-845-5011 FAX 845-5019 〒814-0001 早良区百道浜 3-1-1